

個人質問 税収の確保と、市の天然記念物であるカタクリの保全について

やちまた21

林 政男



個人質問 子ども手当と砂ぼこり対策について

古場 正春



税収の確保について

問 平成21年度の市税等の税収見込みについて伺う。

市長 市税等の収入額については、約72億7千500万円を見込んでおります。収納率については、現年課税分94・0%で対前年度比0・2%の増、滞納繰越分についても13・1%で、1・7%の増を見込んでおりますが、全体では76・8%で、0・3ポイントの減を見込んでおります。

問 平成21年度の国民健康保険税の税収見込みについて伺う。

市長 収入額については、約23億8千200万円を見込んでおります。収納率では、現年課税分77・2%で対前年度比1・0%の増、滞納繰越分については11・5%で前年度と同率と見込んでおりますが、全体では42・4%と0・1ポイントの減を見

込んでいる。国保税の資産割に内他市のようにする考えはあるか伺う。

国保年金課長 平成20年度に25%から20%に変更をしましたが、景気低迷等により税収が調定額ごと下がつており、資産割をなくすという計画に踏み切れる状況ではないと伺う。

問 滞納者への対応について伺う。

市長 悪質な滞納者に対しては財産調査や差押、公売など厳しく対応してまいります。リストラ等様々な事情を抱えている方も多いため、単に事務的に処理することなく、それぞれの状況にあった解決策を見いだせるよう努めてまいります。

環境保全について

問 市の天然記念物である砂地区のカタク

リの保全が不十分と思われるが如何か。

教育長 カタクリの良好な自生を促すため、草刈りや落ち葉拾いなどの環境整備を考えており、砂地区との連携を強化し、文化財ボランティアの力も借りながら、良好な生育環境の維持に努めてまいります。

問 絶対数を増殖させる必要があると思われが如何か。

教育長 盗掘などによる減少傾向にあったカタクリを保護するため、採取を禁止する看板等の設置や職員の巡回を行ってきましたが、これにより植生数は増加をしていると認識しています。また教育委員会では今年、実からこぼれた種子の一部を採取し、カタクリの人工栽培を試験的に始めようとしています。

子ども手当について

問 6月に支払う金額、人数及び世帯数について伺う。

市長 支払金額は3億1千515万9千円、受給者の世帯数は5千242世帯、延べ支給対象児童数は3万1千250人となっております。

問 滞納となつている保育料や給食費を、滞納している方において、滞納ゼロを目指せないか伺う。

市民部長 未納者に対しては、臨時相談窓口への来庁と給食費、保育料の納付を促す文章を郵送しており、未納者にはそのようにしっかりと対応していきたいというように考えております。

文書管理について

問 コピー機の管理について、①設置されているコピー機の金額

②コピー1枚当たりの金額 ③コピー用紙1枚当たりの金額について伺う。

市長 コピー機12台分の年間の賃借料は157万1千220円で、1枚当たりのコピー料金につきましては、事務用コピー機は4・2円、コピー機は7・22円です。昨年年度のコピー枚数の実績を申し上げますと、事務用コピー機10台分は170万1千272枚、コピー機2台分は1万1千737枚で、総数171万3千9枚であります。

環境保全型土づくり

問 農地の冠水対策について伺う。

市長 農地の冠水による道路等への土砂の流出対策として、現在、ライ麦・エン麦・小麦などの種子を農家の方々に配布し、作付していただくことにより、砂ぼ

こり対策のほか、降雨による農地の土砂流出防止対策としてもご協力をいただいておりますので、当面はこの環境保全型土づくり対策事業を利用し、対応してまいります。砂ぼこり対策について、平成21年度種子の種類と作付面積及び種子を何キログラム配付したのか、また平成22年度は、希望者が増えた場合どのように対応するか伺う。

市長 平成21年度の事業実績については、ライ麦・エン麦・小麦の3種類の種子を配付し、個別の作付面積及び配付量については、ライ麦が119・2ヘクタール、2千384キログラム、エン麦が126・9ヘクタール、2千538キログラム、小麦が83・5ヘクタール、1千670キログラムです。平成22年度の事業費については、予算に不足が生じた場合は補正にて対応